地域コミュニティ活動に必要な備品を整備しませんか

●お問い合わせ　企画調整課　☎76－3807

財団法人自治総合センターでは、宝くじの社会貢献広報事業としてコミュニティ助成事業を行なっています。住民が自主的に行なうコミュニティ活動の促進を図り、地域の連帯感に基づく自治意識を盛り上げることを目指し、コミュニティ活動に直接必要な備品（テーブル・イス・音響機材など）の整備に対して補助をする事業です。

皆さんの地域でもコミュニティ活動を充実させるために活用されてみてはいかがでしょうか。

▶**助成金額**　100万円～250万円（助成率10/10）（10万円単位）

▶**募集期限**　**9月30日（木）まで**

書類作成等、時間を要するためお早めに企画調整課までご相談ください。

▶**助成時期**　令和４年度

令和３年度活用事例

日向下区が事業を活用し、テーブルやイス等を整備しました。備品整備にかかる住民の負担軽減と、地域コミュニティ活動の活性化につながりました。

町長コラム　Vol.17

とびらをあけて

九重町長　日野 康志

６月７月ではそれほど雨も降らず、昨年のような事はありませんでしたが、８月に入って台風の通過や梅雨末期のような集中豪雨が１週間続き、昨年の災害を思い出した方も多かったと思います。一部の道路の損壊や土砂崩れ、農地の災害等はありましたが、人的被害は昨年同様出ておりませんので、一安心したところです。しかし、復旧の見通しが経たない道路の損壊も出ていますので、全力を挙げて復旧に努めて参ります。

そのような状況下ではありましたが、８月11日に第５回「山の日」記念全国大会（実行委員長広瀬勝貞大分県知事）」が、九重町を中心に開催することが出来ました。台風と集中豪雨の合間であり、新型コロナウイルス感染症の第５波が、まだ大分県では猛威を振るう前の奇跡の一日ではありましたが、多くの来賓の皆さんや関係者の皆さんのおかげで、無事に終了することが出来ました。ただ残念だったのは、この山の日を開催することによって、多くの観光客や山を愛する人たち、山を守っている人たち、九重町の住民の皆さんの参加を、コロナの影響で制限せざるを得なかったことです。観光をはじめ、経済が大変苦しい時期でもありましたので、この大会を契機として復活の足掛かりにと考えておりましたが、叶いませんでした。

まだまだ続く感染症ですが、感染対策は勿論、経済対策も続けながら１日も早い復活と、新たな時代への対応を考えて行かねばなりません。常に原点を忘れず現場主義を心掛け、住民の皆さんとの協働を意識しながら、支え合える町を創っていきたいと考えています。皆さんと会える機会が少なくなり、いろいろな意見が聞けない厳しい状況ではありますが、これまでも、そしてこれからも変わらぬ意思をもって接して行きます。

結びに一言、今の時代リーダーシップが大切とよく言われます。決断力や実行力が必要なのは当然ですが、その過程においていろいろな意見を聴くというコミュニケーション力が無ければ、信頼関係は創れません。信頼関係が住民とあってこそ、決断し実行できることだと思います。これからも、信頼を得られる様、誠実に努力して参りますので、宜しくお願いします。